

# 「県中農林事務所須賀川農業普及所整備」基本・実施設計業務 公募型プロポーザル審査委員会 審査講評

## 1 審査経過

本施設の整備事業基本・実施設計委託業務に係る公募型プロポーザルは、各分野を代表する6名の審査委員による審査委員会により、「県中農林事務所須賀川農業普及所整備」基本・実施設計業務公募型プロポーザル募集要領の策定から最終審査に至るまで、慎重かつ厳正な審査を行いました。

### (1) 第1回審査委員会

日程：令和4年5月16日（月）

場所：須賀川土木事務所（須賀川市）

議事：委員長、副委員長の選出、県中農林事務所須賀川農業普及所整備基本構想等の確認、募集要領、審査スケジュール等の協議。

### (2) 第2回審査委員会

日程：令和4年7月15日（金）

場所：ふくしま中町会館（福島市）

議事：令和4年6月23日（木）までに提出のあった14者の技術提案書について、各審査委員が事前に実施した予備審査の結果を踏まえ一次審査を行い、評価の高い6者をヒアリング対象者に選定。

### (3) 第3回審査委員会

日程：令和4年8月15日（月）

場所：須賀川市民交流センターtette（須賀川市）

議事：第2回審査委員会において、ヒアリング対象に選定した6者によるプレゼンテーション（各10分）及び質疑応答（15分）を実施。  
その後、審査委員による協議により、最優秀（設計委託候補者）1者及び次点1者を決定。

## 2 審査結果

最優秀（設計委託候補者）：有限会社辺見設計

次点：株式会社土田建築設計事務所

### 3 講評

#### (1) 全体講評

本施設のプロポーザルで求めた提案課題は、次の3課題でした。

- ①周辺地域と共生する施設の在り方に関する提案
- ②次世代の農業普及所としての施設機能の実効性確保に関する提案
- ③その他本施設の計画において特に重要と考える提案

ヒアリングを要請した提案は、いずれも建物の配置やオープンスペース等に周辺住宅地に対する配慮や特徴が見られ、単に農業普及所としての機能だけで無く、周辺の地域と共生する施設としての提案が随所に盛り込まれたものが多数見られました。

また、次世代の農業普及所としての施設機能の検討もなされており、施設を利用する農業者や職員が気持ち良く過ごし、活用するための工夫を感じるものでした。

その他本施設の計画において特に重要と考える提案として、施設の木造化・木質化やZEB化に関する提案もあり、県産材の利用、建築コストの削減、再生可能エネルギーの活用など、提案工夫されており、実現に向けた前向きな姿勢を感じることができました。

最優秀の提案はいずれの課題についても熟慮され、周辺地域との共生、農業普及所としての機能、木造化・木質化、ZEB化等、バランス良く組み上げられているとともに、取組体制を整え、実現性にも踏み込んで計画されており、総合力の高さを感じさせるものでした。

#### (2) 個別講評

各審査委員の評価・意見をまとめて、各者の提案内容を個別に講評します。

##### ○最優秀：有限会社辺見設計（受付番号3）

T字路正面に配置されたコモンサークル広場や、建物を2棟に分け敷地形状に合わせて重ねた配置など、周辺の住宅団地に対してレベル差や余白・植栽等で配慮しながら開かれた雰囲気を出出するための工夫がなされており、シンプルさも担保しながら提案性もある計画として高い評価を得ました。

また、マルチカーポートから土壌診断室、放射能モニタリング室への物資搬入や研修・会議室の多様な使用方法に関する提案など、使用する職員の利便性にも配慮がなされていました。

他方、木材調達に関する提案の実現性やNearly ZEB実現に向けた提案については、必要な体制を備えており、一定程度の提案がなされていますが、実現に向けては今後さらに詳細に検討すべき部分もあるとされました。

##### ○次点：株式会社土田建築設計事務所（受付番号5）

再生可能エネルギーを活用した庁舎のZEB化や木造化・木質化について具体的な

提案がなされております。特に環境設備の提案内容は、セクターカップリングやメンテナンス等も含めて、将来に向け再エネ先駆けの地を目指す県内での公共施設整備の指針になるだろうと最も高い評価を得ました。また、全体的にシンプルな内容の提案となっており、職員による管理運営のしやすさにも配慮されている提案でした。即ち、この提案は、そのシンプルさも含めて、今後の環境を踏まえた建築のあり方を考える際、参考となる様な提案性を含んでいると評価されました。

一方で、提案課題である周辺地域との共生についての提案が少なく、住宅団地に整備される施設としての訴求力に不足を感じました。加えて、平面計画においても、執務室と土壌診断室等、放射能モニタリング室等の職員が利用する室が離れている等、日常業務における利便性についても不足していることなど、実施段階で変更可能な部分があるにしても課題の主要部分の提案性に疑問が残り、惜しくも次点の評価となりました。

(以下、受付番号順)

#### ○一級建築士事務所ハコプラスデザイン（受付番号2）

曲線型にデザインされた庁舎や扇状に形成された駐車場、交流広場等については、周辺の住宅団地に対して配慮しつつ開かれた計画性、また敷地の特性を活かした意匠性として、高く評価されました。また、執務室やモニタリング室等の職員が使用するゾーンと来庁者に開かれるゾーンの区分けは、駐車場・車庫の配置やセキュリティの考え方と相俟って非常に優れた提案でした。

一方で、その特徴的な造形から来る、一部不整形な空間の使い勝手、特に建築コスト面や提案内容による ZEB 化の実現について懸念が残りました。空気調和設備の提案では、記述が少なく、十分に理解し難い部分がありました。これらの懸念事項についての質疑において、取り組み体制も含めて、不安を解消する十分な回答が得られませんでした。

#### ○株式会社田畑建築設計事務所（受付番号11）

建物を交流棟と事務棟に分割し、その間に来庁者の車寄せやキャノピーなどアプローチが豊かに提案されており、来庁者を迎え入れる施設として評価されました。同時に、来庁者と職員の出入りを分けセキュリティの面で工夫もなされていました。

また、東側に設けられた研修・会議室と外部交流スペース、イベント広場との連携については、有機的な連携が可能となる機能として評価を得ました。

一方、執務室が敷地の北側に配置されている点について、住民との交流に繋がることの提案がありましたが、敷地の中央にまとめられたやや大ぶりの計画建物とともに、住宅地にある施設として、近隣住民への配慮の点から懸念する声がありました。

木造化・木質化や Nearly ZEB の実現についても提案がありました。しかし、建築

環境や空気調和設備の提案は、教科書的な表現に留まっており、さらに給湯設備には触れておりませんでした。このことから、実効性に疑問が残りました。これらの懸念事項についての質疑において、不安を解消する十分な回答が得られませんでした。

#### ○株式会社邑建築事務所（受付番号12）

Nearly ZEBの実現に対して、木造化・木質化の提案とも絡めた具体的な提案があり、環境設備面で一定の評価を得たほか、東側に寄せた建物の配置についても住宅団地への配慮も見られました。

一方、敷地の南側に配置されている玄関やインフォメーションギャラリーについては、道路側からの視認性や周辺への開き方に懸念が残りました。

また、来庁者が利用する研修・会議室やテラスが駐車場と離れていることによる利用者の利便性、また、木造化・木質化の提案の要である現しの小屋組みとスライディングウォールとの関係についても懸念が残りましたが、質疑において不安を解消する十分な回答が得られませんでした。

#### ○エーユーエム構造設計株式会社（受付番号13）

玄関の隣に配置された軒下テラスについては、木造化・木質化の提案と相俟って来訪を促す工夫として独自性があり、研修・会議室との連携についても考慮されているとして評価を得ました。

一方、敷地内北側の車両動線の整理やそれに伴う周辺住宅地への配慮への懸念が残りました。

また、ファーマーズホールに設置されたキッチンの有効性やその運営、ZEB化に関する提案内容の実効性、さらに取組体制の実効性についても懸念が残りました。特に、ZEBの提案は、最近の動向を把握して多くの項目の記載がありましたが、設備による省エネの、具体性や実効性に懸念が残りました。質疑において不安を解消する十分な回答が得られませんでした。

### (3) まとめ

提示した課題に対して十分に検討された提案が多く、選考においては数多くの議論が交わされました。今回提案された内容が事務局との協議を経てさらに具現化され、須賀川農業普及所はもとより本県農業の一層の発展に寄与することを期待します。

最後に、当審査委員会が掲げた提案課題に対して真摯に向き合い、自由な発想で多様なアイデアを寄せていただいた14の提案者に対し、審査委員一同、心から敬意と感謝の意を表します。

令和4年9月29日

「県中農林事務所須賀川農業普及所整備」基本・実施設計業務  
公募型プロポーザル審査委員会

委員長：浦部 智 義（日本大学教授）  
副委員長：赤井 仁 志（北海道大学大学院客員教授、前・福島大学特任教授）  
委員：吉田 真 治（須賀川地域青年農業士会会長）  
委員：田母神 秀 顕（福島県土木部営繕課長）  
委員：大橋 金 光（福島県県中農林事務所須賀川農業普及所長）  
委員：二宮 信 明（福島県農林水産部農業振興課長）